

7月になりました。なったかな？

ドタバタの100日余りが終わりゆうゆう館も皆様のご利用ができるようになりました。当然ですが・・・「新たな生活様式」に則った利用協力をお願いしていただいております。コロナウイルスによる生活様式の変化については、毎日の様にテレビでも訴えられているので皆さん、そのこと事態はとてもよく理解して下さっております。

「大きな声でしたら、唾が飛ぶからいけないのよね。」「身体に触ったらいけないよね」「トイレや机まで消毒しているんだって・・・！皆さん大変ね お世話かけるわね」と久しぶりの外出だった少しためか、おしゃれをして、御髪も整えて、白や手作りマスクをして共通の趣味のお仲間やお友達同士が片寄せ合い、大声で（お耳が遠くなっているので・・・）会話したり、腕をとりあったり、狭い廊下や室内をズズズンと移動されております。ア・・・アアア（ ^ω^ ）・・・それダメかもよーオ・・・と思う事もしばしばあります。そんな皆さんに、より具体的に「ソーシャルディスタンス」をご理解していただけたらとその想いをこめて職員は色々工夫しました。 その一つがこの写真です。



写真だとわかりにくいかもしれませんが高齢者や子どもにもサクッとわかるように「2mの距離を壁の装飾として表示」

「思いやりの^{きょり}距離」と記載しています。

お互いに傷つけあいたくないですものね
これを見た皆さんは「2mって結構遠いわね」
「ね！先に行ってくださいな」と気づかれます。

数か月の間、テレビに向かっての独り言か、家族からの電話を待つ？しかなかった方たちが、「人と語り合いたい、人と会いたい」と思うのは「ひと」だからだと思います。人はやはり、全くの孤独ではられないのでしょうか。だからこそ、「思いやる大切さ」も身につけてきたのでしょうか。（忘れることも多々あるけれど・・・）「絆・交流・つながり」などよく聞く単語ですが、本当に今それを実感しています。人である以上年齢や性別には関係なく実はその大切さは変わらないのだと改めて感じています。

「おもいやりの距離」を壁一面に力強く、でもやさしく訴えてくれた人
プロップK 最年少理事の社名が「ストロングボンズ Bonds 強い絆」であること
また同じような気持ちの若い友人？達が力を貸してくれている事
（当団体 HP のフロントページ見た方なら・・・それがヨークわかりますよ。見てくださいね）
それらに改めて気付かされ、いたたまれない不安に駆られていた私の気持ちが救われました。

「with コロナの時代」を向かえるあたり「嫌な世の中になった」「若い人達は」と愚痴ってばかりいないで、【それなりに・楽しく・自分らしく・生きていかねば！】と気づきました
まだまだ、予断が許さない日々が続きますが、それでも一歩前に進んで行けそうです。

よって・・・プロップKは7月より新たな生活様式に則ったうえで活動を再開いたします。
令和2年7月 プロップK 再始動です。
皆さまとお会いでき、確かめあえるはずの・・・もうすぐ7月。6月雨の日曜日です。